

野方駅、都立家政駅及び鷺ノ宮駅周辺のまちづくりの検討について

1. 要旨

野方駅、都立家政駅及び鷺ノ宮駅周辺において、地域住民主体のまちづくり検討組織が駅毎に設立されることにより、まちづくりの機運を醸成し、もって、西武新宿線（野方駅～井荻駅間）の連続立体交差事業の早期実現を目指す。

2. まちづくり検討組織

（1）目的

まちづくり検討組織は、駅周辺がより魅力的で活力があり、安全・安心なまちを実現するため、地域住民が具体的なまちづくりを検討することを目的とする。

（2）設立までの流れ

駅周辺の町会・自治会や商店会の役員と区が協力して、まちづくり検討組織の前身となる準備会を立ち上げる。準備会は、駅周辺の地域住民に対して、まちづくり検討組織への参加を呼びかける。

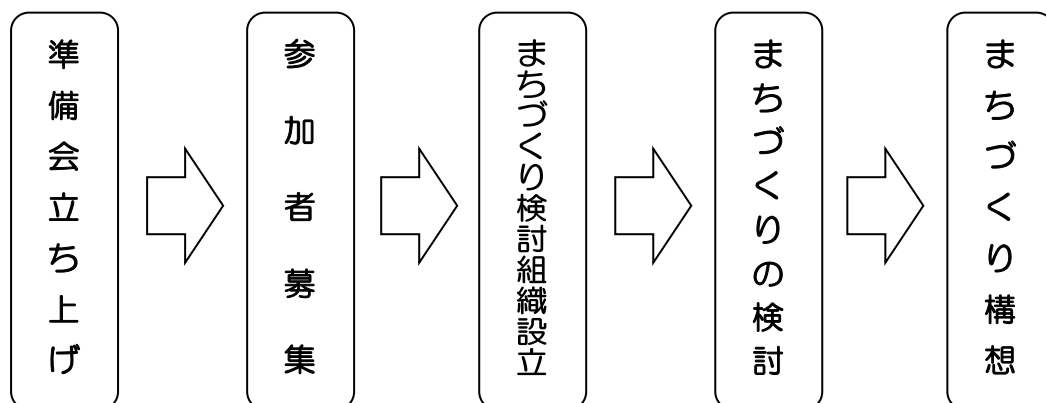
（3）設立に向けての現在の取り組みと今後の予定

駅毎にまちづくりを検討するエリアについて、町会等の役員と調整を行っている。準備会立ち上げ後、組織の構成や規約、活動計画の案の作成と、参加者の募集を行う。

なお、準備会は平成 28 年 1 月までに立ち上げ、まちづくり検討組織は平成 28 年 3 月の設立を目指す。

3. まちづくりの検討の進め方

まちづくり検討組織に対して、区が必要な支援を行う。そして、具体的なまちづくりの検討を進め、駅周辺のまちづくり構想をまとめる。



野方駅、都立家政駅及び鷺ノ宮駅周辺の検討エリア（案）

